



「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には、どんな小さなことでもいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

平成21年度のボランティアポスターが完成!



県教育委員会では、高校生のボランティア意識を高めることを目的として、「かながわ高校生チャレンジボランティアポスターコンクール」を毎年実施しています。今年度のコンクールでは、県立弥栄高校2年次の菊永つく穂さんの作品(左)が最優秀賞となり、この作品を原画としたポスターが各高校に配付されました。来年度はあなたもチャレンジしてみませんか?

- 入賞者**
- 最優秀賞 菊永 つく穂さん (県立弥栄2年次)
 - 優秀賞 齋藤 美咲さん (県立横浜旭陵3年次)
 - 佐々木 歩未さん (県立横浜旭陵3年次)
 - 佳作 清水 百合子さん (県立上矢部3年)



ネットで探そうボランティア

「ボランティアをやってみようかな。でもどうやって探すの?」というあなた。「ボランティアパスポート」に掲載されている「地域ボランティアエアポート」のほか、インターネットのWebサイトなどでも、ボランティア募集などについての新しい情報が日々掲載されています。ブックマークしておく便利です。

県域での募集情報を掲載しているサイトを2つ紹介します。



PLANET かながわ 体験活動・ボランティア活動

<http://www.planet.pref.kanagawa.jp/sien/taikenbora.htm>
神奈川県生涯学習情報センターのサイトです。小学生～高校生の体験活動・ボランティア活動に関する情報が分野・地域別に掲載されています。

Lets ボランティア

http://www.knsyk.jp/volunteer/volunteer_n.html
神奈川県社会福祉協議会のボランティア情報のサイトです。県内の施設や団体のボランティア情報が豊富です。

このほか、各市町村の社会福祉協議会や、市民活動センターなどのWebサイト、ネットサービス企業のポータルサイトなどでも様々な募集情報が掲載されています。



わが校の地域貢献活動・ボランティア活動 第4回

全高総文祭三重大会・ボランティア部門に参加しました! 県立伊志田高校

「一期一会」

「あなたに、会えて本当に良かった。一人でも良い。ここからそう言ってくれる人があれば。(相田みつを)」

第33回全国高等学校総合文化祭三重大会には、北は北海道から、南は沖縄まで、日本各地からボランティアに取り組んでいる高校生たちが集まり、それぞれの活動を発表しました。地域に合った特色のある活動を行っていたり、また、積極的に地域と交流している学校があったり、と改めて日本の広さを実感しました。また、各地でボランティア活動に全力で取り組んでいる仲間が沢山いるのだと感じ、とても嬉しく思いました。私達、神奈川県代表の四名は、SMAPのX世界に一つだけの花を手話で披露し、会場の皆さんと一体感を味わいました。

会場に集まった多くの高校生たちは、三重に来なければ会える事ができなかった仲間たちです。短い時間でしたが、交流会の中で、様々な地域の高校生と触れ合いました。緊張していた私達に優しく話しかけてくれた三重の皆さんや、普段耳にしない柔らかな方言で自分の住んでいる地域の事を話してくれた青森県代表の皆さんなどに会い、高校最後の年に、他の何にも代えがたい良い経験ができました。

近年、日本では私達と同世代の高校生が凶悪犯罪を起こすなど、哀しいニュースが報じられています。けれども、三重で出逢えたような、ボランティア活動に積極的に取り組む高校生もいます。そんな人たちが増えていけば、少しずつですが未来は変わって行く気が、私はします。そう信じています。

最後にもう一度、感謝の気持ちをこめて。「あなたに、会えて本当に良かった。」

(伊志田高等学校 高村 恵美子)



★ 「全国高等学校総合文化祭」は「文化部のインターハイ」と呼ばれる、文化部活動の全国大会です。今年三重県で開催され、「ボランティア部門」には本県代表として、県立伊志田高校の他に、県立横浜南陵高校、県立二俣川看護福祉高校の生徒、合わせて4名が出場しました。

